

令和8年度平塚市自動運転バス実証実験

1 はじめに

本市は、令和9年度における自動運転バスの「レベル4」運行の実現に向け、国土交通省の「令和8年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転社会実装推進事業）」に応募し、重点支援事業として令和8年6月23日付で交付決定されました。

これに先立つ令和8年3月6日には、本市の取組がデジタル庁の「令和7年度(2025年度)自動運転社会実装先行的事業化地域事業」に選定され、同庁や関係府省庁から総合的な支援が行われます。

本実証実験は、平塚駅南口エリアにおいて4年目の実施です。自動運転バスの社会実装に向けた検証と解析を積み重ねるもので、神奈川中央交通株式会社、三菱商事株式会社、アイサンテクノロジー株式会社、A-Drive 株式会社、いすゞ自動車株式会社と連携して実施しています。

2 令和8年度 事業概要

(1) 運行区間

神奈川中央交通 平15系統(平塚駅南口～すみれ平～平塚駅南口)(約 4.3km)

※令和 5、6、7 年度と同じルート



図 運行ルート概要

(2) 自動運転レベル

これまでと同じ「レベル 2」(※)で実施します。

(※)システムが縦横の運転操作を実行しますが、自動運転バスの操作を習得した運転士が、常時ハンドル・ブレーキを操作できる態勢をとります。

(3) 使用車両

いすゞ自動車株式会社製「エルガ EV 自動運転バス」(写真右)

(4) 実施時期

令和8年度下半期の実証運行を予定しています。なお、データ取得や車両の保守を目的とした試運転は、4月から実施しています。



(5) 実証項目

社会実装を想定したバス運行オペレーションの高度化と、自動走行率(令和7年度実績:約96.5%)のさらなる向上を目指し、次の取組を中心に実施する予定です。

- ア 複数台車両に対する遠隔監視機能実施体制の検証
- イ 立席乗車の実施による運用等の検証
- ウ 路上駐停車車両に対する自動回避機能の高度化

3 国土交通省における視察

令和8年6月8日に、第3回 国土交通省自動運転社会実現本部の開催に先立ち、国土交通省の駐車場において、本市が使用する「エルガ EV 自動運転」が展示され、国土交通大臣をはじめとする政府関係者の視察を受けました。(写真右)



4 平塚駅南口駅前広場(ロータリー)の改修に向けて

平塚駅周辺地区将来構想の中で、平塚駅南口広場は、「様々な公共交通へ乗り換えやすく海を感じる交流拠点」とする将来像を描いています。

このうち、ロータリー部分は先行して手掛け、バス・タクシー・一般車・歩行者等の交通導線の混在を解消するとともに、自動運転バスの乗り入れを想定し、今年度、実施設計を手掛けていきます。現在、設計に向けた前提条件を整理しており、この設計後2年から3年程度のちの供用開始を目指し、整備を進めていきます。

以 上